

Fons Sapientiae

仙台白百合女子大学図書館報 「フォンス サピエンティエ」



No. 16
2016.4.1

Contents

- ・大学図書館へようこそ
- ・新着図書の紹介
- ・新着DVDの紹介
- ・推薦図書
- ・図書館からの報告とお知らせ
- ・2015年度図書館関係会議・研修会等報告



大学図書館へようこそ

図書館には、いろいろな分野の図書がありますが、特定の分野をまとめた様々なコーナーを設けております。その中から各学科に関連した主なコーナーをいくつかを紹介いたします。

○教職課程コーナー(人間発達学科)

人間発達学科では、保育所及び幼稚園の教職課程に加えて、小学校教員の養成課程も2013年に新たに設けられました。図書館2階の閲覧室に入ってすぐ左手に、教職関係の図書をまとめたコーナーがあります。こちらには、各種教科書の他に教師用の指導書も置いてあります。また、保育実習の実用書や楽譜、絵本等が並んでいます。人間発達学科の他にも心理福祉学科の社会福祉実習や健康栄養学科の臨地実習等にも、絵本を借りていく学生が多数見られます。



絵本コーナー



教科書&指導書

○福祉関連図書コーナー(心理福祉学科)

図書館2階の閲覧室には、壁を隔てて4つの区画があります。そのうち手前から3番目の区画部分には、福祉関連の図書が分類的にまとめられています。ここでは、「日本十進分類法」に基づいて、36の分類から始まる「社会」関連図書が置いてあり、361の「社会学」から369の「社会福祉」部門が、主要な福祉関連の図書となっています。また、心理学関係の図書は、2番目の区画の14から始まる「心理学」という番号の書架にまとめられています。



社会福祉関連書架



心理福祉関連図書

○管理栄養士関連図書コーナー(健康栄養学科)

図書館3階の入口近くの書架には、管理栄養士及び栄養士関連の図書が置いてあります。こちらは、分類番号490の「医学」の中の498「衛生学、公衆衛生、予防医学」の項目で、そのうち498.5が「食品・栄養」となっております。さらに細かく分かれて、498.51「食品学」、498.55「栄養学」、498.583「保健食品・食事療法」の項目が続いています。管理栄養士関連の図書は、498.55の分類の「栄養学」に配置されております。



栄養学関連書架



健康栄養関連図書

○語学・文学関連図書コーナー(グローバル・スタディーズ学科)

図書館3階の分類番号が、8から始まる書架と9から始まる書架には、語学・文学関連の図書が置いてあります。81から始まる番号は日本語、83から始まるものは英語、といった具合に各言語によって分類されています。また、91から始まる日本文学、93から始まる英米文学のように、9から始まる文学関連図書も語学と同様に各言語によって区分されています。なお、2階の参考図書のコーナーには、英語を始め、ドイツ語・フランス語・スペイン語・イタリア語・ロシア語・ラテン語といった各種の言語の辞書が揃えられています。

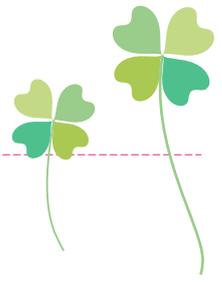


文学関連書架



文学関連図書

新着図書の紹介



『ちきゅうの なかまたち』シリーズ (全8冊 既刊5冊)

ビッキー・イーガン 文 ダニエラ・デルカ 絵 秋篠宮紀子 妃殿下 構成・訳 新樹社



世界のさまざまな地域に暮らす生き物を描いたシリーズで、主人公である動物の子どもたちが好奇心いっぱいに繰り広げる物語を通して、自然や動物の生態を学ぶ科学絵本です。このシリーズを翻訳され、構成も担当された秋篠宮紀子様の「私たちのまわりにある海や山、川や湖、

森や林などの自然を深く理解するうえで、動物との親しいふれあいは、子どもたちにとり、かけがえない経験となるでしょう」というお言葉の通り、このシリーズは、子どもたちに生き物にたいするイメージを、さまざまにふくらませていく手助けとなる絵本です。

『王とサーカス』 米澤 穂信 著 東京創元社



アニメ化もされた「水菓」シリーズで若者にも人気の高い米澤穂信ですが、2014年に第27回山本周五郎賞を受けた『満願』は絶賛を浴びました。そして2015年に発表されたのがこの『王とサーカス』でした。この作品は「このミステリーがすごい! (2016年版国内編ベスト10)」「〈週刊文春〉2015年ミステリーベスト10」「ミス

テリが読みたい! (2016年版国内編)」の三つの主要ミステリーランキングで1位を取り、三冠を達成しました。前作の『さよなら妖精』から10年を経て、主人公太刀洗万智が遭遇する王族殺害事件。2001年に実際に起きた王宮事件を取り込んで描かれた壮大なフィクションで、米澤ミステリーの記念碑的傑作と言われている作品です。

『だれもが知ってる小さな国』 有川 浩 作 村上勉 絵 講談社



主人公のヒコは「はち屋」の子どもで、みつ蜂を養ってはちみつをとり、そのはちみつを売って暮らしています。お父さん、お母さん、そしてみつばちたちと一緒に、全国を転々とする小学生です。ヒコが会った小人とは?

佐藤さとるが1959年に著した『だれも知らない小さな国』から始まった『コロボックル物語』は、日本中の

人々に愛され続けているファンタジーです。そのファンタジーを当代一流のストーリーテラーである有川浩が書き継いだのがこの物語です。『コロボックル物語』の村上勉が、絵を担当しています。『コロボックル物語』を読んでいない人でも楽しめる作品となっていますので、是非、読んでみて下さい。

『漂流郵便局』 久保田 沙耶 著 小学館



香川県三豊市の栗島をアーティストの久保田沙耶が訪れたのは、瀬戸内国際芸術祭に向けてのリサーチのためでした。東西の海流がぶつかり合うこの島には、たくさんの漂流物が流れ着きます。この島の旧栗島郵便局を改築して、アートプロジェクト「漂流郵便局」ができました。漂流郵便局は日本郵便とは関係ありませんが、届け先の

わからない手紙を受け付ける郵便局として、「漂流私書箱」に全国から届いたたくさんの手紙を預かっています。漂流郵便局を訪れた人は誰でも手紙を読むことができ、自分宛の手紙を見つけたら持ち帰ることができます。この作品では、漂流郵便局と様々な手紙を紹介しておりますので、一度は手にとって見ていただきたい本です。

新着DVDの紹介

「ティンカー・ベル」シリーズ (DVD 6巻)



イギリス、スコットランド出身の作家ジェイムズ・マシュー・バリーの一連の戯曲や小説をもとに、ウォルト・ディズニーが「ピーター・パン」のアニメを発表したのが1953年で、以来、ピーターは世界中に知られるキャラクターとなりました。

「ピーター・パン」の中で、ティンカー・ベルは、ピーターが暮らす夢の島「ネバーランド」に住む妖精であり、ピーターとともに様々な活躍をします。

しかし、このディズニーの「ティンカー・ベル」シリーズでは、ピーターとともに彼女が活躍する姿が描かれているのではなく、いろいろな出会いや妖精の仲間たちの助けを借りて、彼女が成長していく姿を感動的に描いています。初めは、四季をモチーフにした4部作だったのですが、2015年に公開された「ティンカー・ベルと流れ星の伝説」を含めると、現在まで6本の作品が制作されています。

「スター・ウォーズ」シリーズ (DVD 6巻)



日本において2015年12月18日に公開された「スター・ウォーズ/フォースの覚醒」が話題となったのは、記憶に新しいことです。「スター・ウォーズ」はもともと3世代の主人公によって紡がれる3つの物語からなる全9部作として構想されました。そして、2つの世代の3部作からなる全6部作として、一旦完結を迎えました。しかし、2012年に、「ウォルト・ディズニー・カンパニー」によ

って、シリーズの制作会社である「ルーカスフィルム」が買収され、これを機にエピソード7・8・9の新しい3部作の制作が発表されました。新3部作はエピソード6の30年後という設定で、エピソード4-6で活躍した「ルーク・スカイウォーカー」や「ハン・ソロ」の役を演じたマーク・ハミルやハリソン・フォードも登場します。熱狂的ファンも多い「スター・ウォーズ」。新3部作は、DVD発売とともに図書館に入れる予定ですが、その前のエピソード1~6を見たいという方は、図書館に入っているDVDを是非、ご覧下さい。



推薦図書

『「めんどくさい」がなくなる本』 鶴田 豊和 著 フォレスト出版

人間発達学科 講師 仁藤 喜久子



近頃、学生との会話の中で「めんどくさい」という言葉をよく耳にします。あなたは「何か行動するのがめんどくさい」「人間関係がめんどくさい」と思っていますか？

今回紹介する『「めんどくさい」がなくなる本』は、本を読むのが「めんどくさい」と感じている方や常に「やる気が出ない」方に一度読んで頂きたい一冊です。

本を読むだけではなく、生活のあらゆることについて「めんどくさい」をスッキリ解消するための心理テクニックが記載されています。行動力を上げるには「や

る気」は必要なく「やる気」に代わる「パッション (情熱)」と「ミッション (人生の目的)」があなたの心を動かすエネルギーのようです。

この本は第1章～第9章で構成されており、第2章では『「行動するのが、めんどくさい」がなくなる4つの原則』、第4章では『「行動するのが、めんどくさい」をなくす10の工夫』、最後に『めんどくさい診断』が示されていますので、日頃から「めんどくさい」をよく口にする人は一度試してみてください。

『日本の社会保障』 広井 良典 著 岩波新書

心理福祉学科 特任准教授 永嶋 信二郎



現在、年金、医療、介護などの社会保障について勉強しようと思えば、書店に行くと、それに関連する新書が揃えられている。

しかし、かつてはそのような状況にはなっていなかった。いざ社会保障を勉強しようとする、本としてあるのは教科書かノウハウ本か、または高度な専門書か、という状況であり、社会保障に関する新書は皆無であった。

今回取り上げる本は、そのような中で出てきた、いわば社会保障に関する新書のさきがけとも言える

本である。

この本では、社会保障に関する様々な理論を用いることによって、社会保障の見方、日本における社会保障の歴史とその特徴、そして今後の社会保障のあり方について、学術的な観点から、論じられている。そして、このような著作が新書というかたちで、誰でも手にとることができるようになったという点で、この本は、画期的な著作であるといえる。

『ぼくのニセモノをつくるには』 ヨシタケ シンスケ 著 ブロンズ新社

健康栄養学科 准教授 大久保 剛



この本を子どもだけに読ませるのはもったいない！と、私は言いたい。たかが絵本、されど絵本、この絵本は絶対に大人も読むべきである。特に就職活動中の学生さんには必読書になること請け合いです。もし、この本に触れる機会があれば、主人公・けんたを自分に置き換えてみましょう。ちなみにけんたのお父さんは「たけし」(私の名前と同じ)だったので親近感を持って本に入り込みました。自分を説明するために押し寄せる質問の数々、、、自分って一体何なんだろう？ 自己紹介

もままならないのに「あなたはどんなヒトか説明して下さい」と、言われて3分間以上説明し続けられるヒトは相当少ないはず。自分のことを知っているようで意外と知らない自分がそこにいます。自分を見つめる良い機会になるかも知れません。デカルト曰く、「Je pense, donc je suis」と言うように確固たる自分とは？これって実は哲学書だったのか？ヨシタケ・ワールド炸裂の名著です。

『逝きし世の面影』 渡辺 京二 著 平凡社

グローバル・スタディーズ学科 教授 高橋 泉



この書は、幕末から明治の初めにかけて日本を訪れた何人も外国人による日本の印象記をもとに、絵や写真もまじえて、当時の日本を再生させようと一冊の本にまとめたものである。

現代と当時の日本とがいかに異なっているかがよくわかる。一例をあげよう。イギリスの詩人エドウィン・アーノルドは、1889年の東京の銀座辺りの群衆について、「これ以上幸せそうな人びとはどこを探しても見つかからない。喋り笑いながら彼らは行く。人夫は担いだ荷のバランスをとりながら、鼻歌をうたいつつ進む。遠く

でも近くでも、『おはよう』『おはようございます』とか、『さよなら、さよなら』というきれいな挨拶が空気をみたく。夜なら『おやすみなさい』という挨拶が。この小さい人びとが街頭でおたがいに交わす深いお辞儀は、優雅さと明白な善意を示していて魅力的だ。一介の人力車夫でさえ、知り合いと出会ったり、客と取りきめをしたりする時は、一流の行儀作法の先生みたいな様子で身をかかめる」と記している。

まさに、逝きし世の面影である。一読をお勧めしたい。

図書館からの報告とお知らせ

報告

(1) 図書検索ミステリーツアー

2015年10月24日(土)、大学祭の図書館企画として恒例になった図書検索ミステリーツアーが行われました。こちらは、図書館内を回り、図書を調べたり、書架を確認しながらクイズを解いていく、といった企画になっております。



図書検索ミステリーツアー

今回は、小さいお子さんの参加が多かったのが目立ちました。お子さん用の問題は、大人の半分の5問でしたが、皆さん真剣に取り組んでいて、全問正解の賞品を受け取るときの嬉しそうな様子が大変印象的でした。

毎年続けていきたい企画ですので、次回もたくさんの方にご参加いただきたいと思っております。

(3) 手作り絵本ワークショップ

2015年10月25日(日)、大学祭の図書館企画として初めて、「手作り絵本ワークショップ」が朗読会終了後に行われました。こちらは、白紙の本や紙、クレヨン、サインペン等をあらかじめ用意しておいて、好きな材料や道具を使って絵本を作ってみようという企画でした。



手作り絵本ワークショップ

お手伝いの学生さんを主体として、いろいろな年齢の方々に参加していただき、和気あいあいのうちに楽しい時間を過ごされた様子でした。

限られた時間内で完成させるのは大変だったようですが、出来上がった一部の作品は図書館に展示させていただいて、好評を博しております。

お知らせ

(1) 話題の図書コーナー

2014年4月より設けた図書館1階右手奥の「話題の図書コーナー」もすっかり定着してきたようで、このコーナーをチェックする人も増えてきています。ここは、直木賞や芥川賞、各種文芸賞や本屋大賞などの受賞作、また刊行書等、最近の話題になった本を、タイムリーに展示するコーナーとなっています。2015年度に展示した主なものは、芥川賞を受賞し、話題になった又吉直樹氏の『火花』を始め、本屋大賞を受賞した上橋菜穂子氏の『鹿の王 上・下』、秋篠宮紀子様が翻訳されたピッキー・イーガンの文、ダニエラ・デ・ルカの絵の『ちぎゅうのなまたち』シリーズ、テレビドラマで好評だった『下町ロケット』シリーズ等が棚を飾りました。

(2) 朗読会

2015年10月25日(日)、大学祭の図書館企画の一つとして、フリーアナウンサーの長野淳子氏を迎えての朗読会が前年度に引き続き行われました。

今回は、新美南吉の童話『ごんぎつね』と『てぶくろをかいに』の2作品を朗読していただきました。長野氏はフリーアナウンサーの他に各種イベントの司会をされたり、演劇の役者や朗読家としても幅広く活躍されている方です。

当日は、昨年と同様に30名ほどの方にご参加いただきましたが、「長野さんの読み方はとても聞きやすく、登場人物の心情や情景が伝わってくるようで、やっぱりプロはすごいと思った」といった感想をいただき、盛況のうちに終了しました。



朗読中の長野氏

(4) データベース講習会

2015年度のデータベース講習会は、前期は7月14日(火)と7月15日(水)の3校時目に、後期は11月30日(月)の4校時目に、「ジャパン・ナレッジ」を主として行われました。「ジャパン・ナレッジ」は、日本大百科全書やランダムハウス英和大事典を始め各種の辞書や週刊ダイヤモンドの記事等を一括して検索できる、総合系知識データベースです。

また9月からは、明治初期から現在までの雑誌記事を検索できる雑誌データベース「ざっさくプラス」が導入されましたので、後期の講習会の中で簡単な解説を行いました。



データベース講習会

(2) 図書館検索ツアー

図書館では、入学時のオリエンテーションで図書館の簡単なガイドンズを行っています。また、図書館の使い方をスタッフが館内を案内しながら説明する「図書館検索ツアー」も、学科の導入時教育で行っております。図書館検索ツアーでは、図書館に導入されているデータベース等の使い方を解説していますが、卒論・ゼミに関しても、その詳しい使い方を指導しております。

図書館検索ツアーは常時受け付けておりますので、ご希望があれば、一人でもグループでもかまいませんので、どうぞお気軽にお申し込み下さい。



2015年度図書館関係会議・研修会等報告

本学図書館は、日本カトリック大学連盟図書館協議会及び東北地区大学図書館協議会に所属していて、大学図書館間相互の連携によって利用者への利便性を図っています。

日本カトリック大学連盟図書館協議会は、全国18校のカトリック大学の図書館で構成されており、加盟館の発展や情報交換・相互協力を目指しています。2015年度の総会及び実務研究会は長崎純心大学で2015年6月25日(木)、26日(金)に開催されました。26日の実務研究会では、案内役として長崎純心大学片岡瑠美子学長を講師に、浦上天主堂や如己堂(永井隆記念館)、出津教会堂、ド・ロ神父記念館といったカトリックにゆかりのある場所や建物の見学会が行われました。

また、日本カトリック大学連盟の法人化に伴い、下部組織である日本カトリック大学連盟図書館協議会の規約等の検討も行われています。

東北地区大学図書館協議会は、東北地区の国立大学15館、公立大学12館、私立大学38館の計65館が加盟する図書館協議会で、こちらも情報交換や職員のスキルアップ、相互協力を図っています。2015年度の総会は宮城教育大学で、2014年9月26日(金)に行われました。

講演会では、読売新聞東京本社の専門委員で「大学の實力調査」を担当している松本美奈氏を講師に迎えて、「大学図書館の『實力』〜見つける、磨く、発信する〜」と題して、大学調査を通してわかった大学の實力、その大学の中で図書館の果たすべき役割について、講演がなされました。

また、今回の総会で70回を迎えた記念事業として、全加盟館の歴史を記録した写真を載せた冊子を作成し、ウェブサイトによる「東北地区大学図書館アーカイブ」を実施することになりました。

図書館報バックナンバー <http://sslibrary.sendai-shirayuri.ac.jp/>